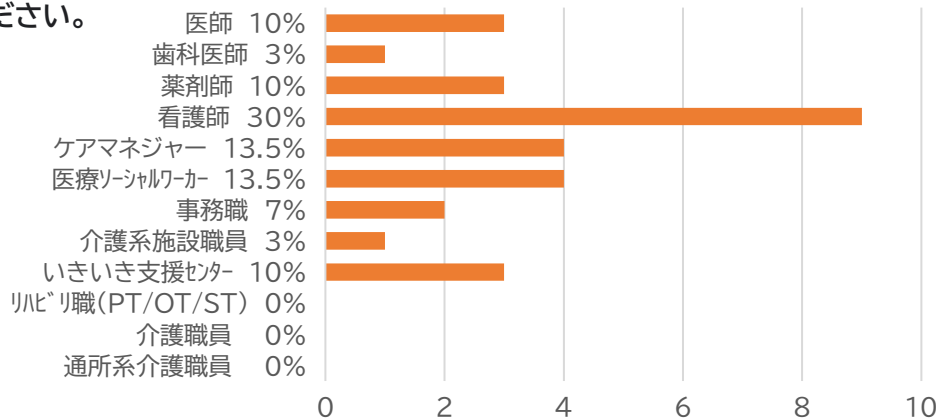


天白区災害時 BCP 模擬訓練 アンケート結果

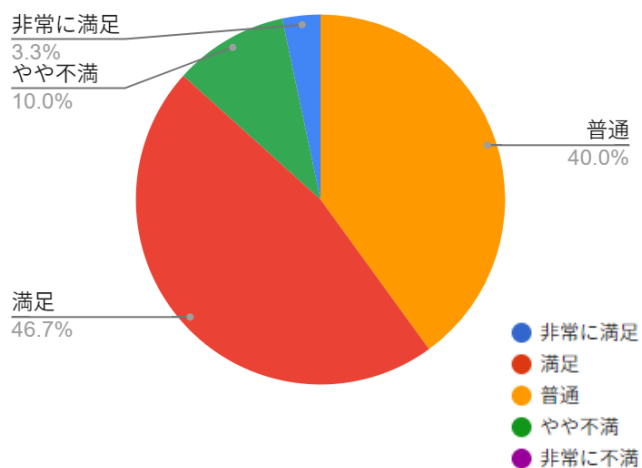
(2025 年 6 月 16 日(月) 開催)



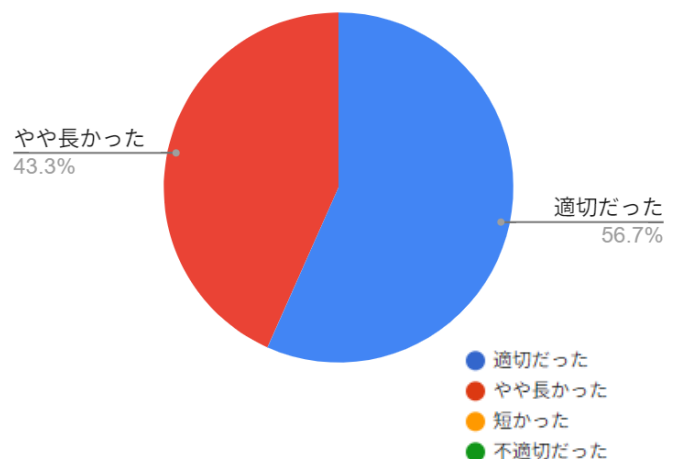
1. 職種を教えてください。



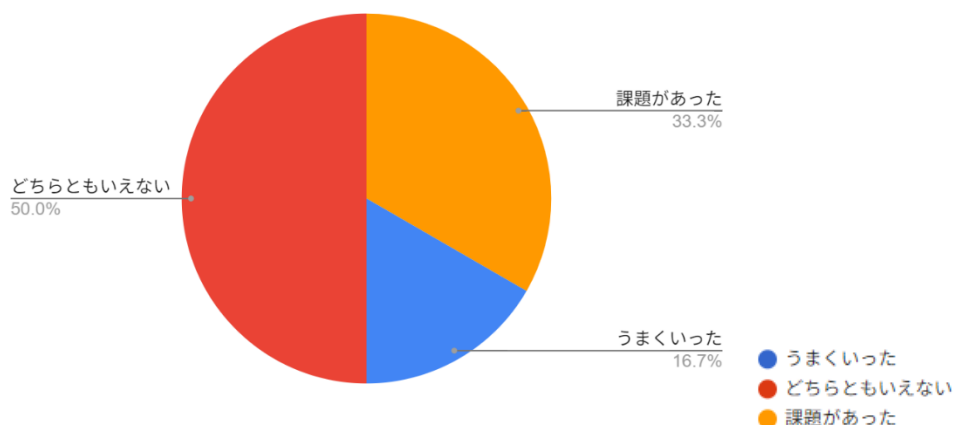
2. 訓練全体の満足度を教えてください。



3. 訓練の時間配分、内容は適切でしたか。



4. 訓練中の他職種・他機関と連携を図ることができましたか。



5. 訓練中に困難・戸惑ったことがあればご記入ください。（原文ママ）

- ・特にありません。
- ・急ぎの案件に対して返答に時間がかかっているため、優先度が必要（人工呼吸器）
- ・チャット内が見えにくく、遡ってみるのが大変
- ・医師がどこにいるか、薬剤師がどこにいるかという動きをしているかわからない
- ・最優先の病態の方の相談先が災害本部になるのか地域の病院なのかわからない
- ・対応要請がある所には出来るだけ対応しようと思うが、もう少し、薬局が参加して欲しかった。
- ・担当のケースの回答を探す事に時間がかかる事。
- ・検索機能を使用してもケース内容の確認が難しい。また、1 と入力しても大文字であったり半角数字であったり丸付き数字であったりで、すべてを確認できない。
- ・ケース事案中に他の問題が発生した際に、優先順位を考えると報告はもう少し後の方がよい場合がある。その際に全体チャットだと共有ができない。
- ・複数のケースが、同時進行のため、ケースごとの経過を追うのがわかりにくかったです。
- ・居宅介護支援事業所には体温計しかなく、術もなく、何もできないと実感しました。
- ・自動車移動が出来ないことを想定し、移動困難の為、訪問の協力連絡できなかった。
- ・それぞれのケースについて、解決済みなのか未解決なのかが分かりにくく、発信をさかのぼってみる必要があったが、ログが流れていくのでどこまで見ていたのかが不明な事があった。チャットを常にチェックできないので、返信に気づかないことがあった。
- ・皆さん同じだと思いますが診療は平常通りだったので、メッセージのチェックを隙間で行う余裕がなかなか見つけられなかったです。
- ・ケアマネとしてできること、関われることがうまく見つけ出せなかった点
- ・発信した後に問合せなどがあるのか常に気にしていないと流れてしまう可能性がある。
- ・患者様が避難所であればまだ確認しやすいが、自宅などであれば住所がわかっても状況にもよるが目印なども記載すると良いかもしれないと思った。
- ・管理者が不在の場合、個人で判断することができない。
- ・ケースの数字が入力者によって全角や半角等あり、検索が思うようにできなかった。
- ・1つだけでなく、いくつか候補から検索できると良いと思いました。
- ・症例が増えるとこのやり方は難しいだろう
- ・地域をブロック分けしていたが、どのケースがどこのブロックかが、判断できず対応に困った。
- ・書き込みのタイミング？
- ・チャット上でのやり取りにおいて、以前の投稿内容がすぐに確認できず、「この内容が誰に関するケースだったか」や「最新の状況がどこまで進んでいるか」を把握するのがやや難しいと感じました。
特に複数のケースを同時並行で扱っている場合、個々の進捗を整理して追いかけることに困難を感じる場面がありました。
- ・勤務中なので正確なやり取りが難しい
- ・対応すべきケース（患者様）の情報を拾いに行くのが難しい。
- ・ケースワークの設定について
 - ①透析患者さんなどはあらかじめ緊急時搬送候補医療機関が決まっていると思います。
 - ②また人工呼吸器の患者様についても 6 時間猶予があれば、災害拠点病院などにあらかじめ受け入れを確認しておくことでスムーズな対応処理が可能になるものと思います。
 - ③実際には患者さんののトリアージ従った優先度により対応することが望まれると思います。

5 つづき

- ・混み合ったときにログインできなかった。いろいろなケースが流れすすむため自分の内容にいつまでも到達しない。
- ・入力しようとしたが訪問間の参加だったため、入力後のやり取りに不安を感じ入力に参加ができなかった。
- ・チャット上でのやり取りにおいて、以前の投稿内容がすぐに確認できず、「この内容が誰に関するケースだったか」や「最新の状況がどこまで進んでいるか」を把握するのがやや難しいと感じました。
特に複数のケースを同時並行で扱っている場合、個々の進捗を整理して追いかけることに困難を感じる場面がありました。
- ・「チャットを開いた時に内容を覚えているかどうか分からない」ことへの対策案
 - ⇒ 対策 1 : 案件別チャットルーム(スレッド)形式の導入
各ケース(患者ごと)にスレッドまたは個別チャットを分けることで、混在を防止。
画面を開いたときに「この人のケースだったな」と思い出しやすくなる。
 - ⇒ 対策 2 : チャット冒頭に「患者基本情報」が自動表示される機能
チャットに入ると、直近の送迎対象者や病状・支援状況などのサマリが自動表示される。
書き込み履歴を遡らなくても、概要がすぐわかるようにする。
- ・「自分が携わっているケースの最新の状況を追っていくのが大変」ことへの対策案
 - ⇒ 対策 1 : 時系列タイムラインの表示機能
各ケースの経過を「要請→対応→送迎中→到着」などステータスで表示。
タイムラインやログを横断して見られる画面があると、状況把握が容易になる。
 - ⇒ 対策 2 : 自分が担当するケースに「タグ」や「フラグ」が付けられる機能
「このケースは自分が担当中」とわかるように色分けやマークを設定。
それにより、他のケースと区別しやすくなる。
職種によって参加割合が異なり、必要とされる職種からの反応がなかった。
しばらく放置するとチャットが進むため、自分の発信したケースに対する反応を確認するのがシステムの苦慮した。
- ・検索は事前に教えて頂いていましたが、ケースが多いと関連を探すのが大変かと思いました。
- ・特になし
- ・会話がたくさんある中で、ケースごとに把握することが難しく災害の際はさらに混乱するのだろうと感じました。
- ・少ない事例ではあったものの、多くのチャットが投稿されることで、必要な投稿を見失う可能性はありそうでした。
- ・発信者としては、投稿に対する反応が無い事が心配なことや、反応がたくさんあっても優先順位をつけて対応することが大変であると感じました。

6. 今回の訓練で「良かった」と思う点を教えてください。(原文ママ)

- ・複数の機関や職種との連携を仮想的に体験できた点は貴重でした。実際の災害時に起こり得る課題を具体的にイメージできたことで、今後の業務の中でも準備の視点を持ちやすくなると思います。
- ・問題点がたくさん出たこと
- ・要請した方からの返信が早い時は早く対応できていて良かった
- ・近くの事業所が対応をしてもらえ事がわかった事。病院の状況把握など。

6 つづき

- ・それぞれの医療機関や施設がどこまで対応できそうなのか把握することができた。
- ・災害時の処方について知ることができた。
- ・各機関の動きが、臨場感を持ってリアルタイムにわかり、実際の災害時の天白区地域の状況を想像することができた。
- ・訓練ということでスムーズに情報交換、共有ができていたと思います。災害はいつ何どき起こるか予測ができないので、突然の被災でどのような状況となるかのイメージが持てました。
- ・近くに困っている人がいることを知り、どのように行動するかイメージが沸きました。
- ・色々な職種での情報共有が出来た。
- ・医療・介護の連携をチャットを使った行いう事ができた。
- ・ケース番号を冒頭に記載するのは必須だと思いました。色々イメージできてまずはやってみる、という経験が大事だと思いました。
- ・医療従事者の方達の被災時の動きを知ることができて良かったです。また、担当利用者に医療依存度が高い方などがみえるので、被災時に必要な支援の前もって行う準備について考える良い機会になりました。近隣医療機関の被災時体制についても情報収集できればと思います。
- ・ケースを決めてやる事によって情報の発信がしやすく。また、実際の際にどのような対応が必要か検討する機会となった。
- ・課題が浮き彫りになった。
- ・始まる前に予想していたよりも、具体的な内容で動きがみられて、自分たちの足りない部分や、課題がいくつか見えたことが良かったです。
- ・グループ分けされていると呼びかけがしやすいと思いました。
- ・システム改善のポイントが見えてくる事
- ・他職種連携として、いろんな方が情報提供いただけたこと。行けないが避難所の状況や、薬局さんの手配など皆んなで共有できたことは良かった。
- ・実際に書き込みをして、周りの受け答えなどを体験できたこと。
- ・多職種で参加できた
- ・細かい想定がされていて良いシュミレーションとなったと思います。
- ・他職種がどのような動き方をしていただけるのかが、ある程度把握出来た点。
- ・多くの改善すべき点が抽出できたと思います。この点は今後に大いにつながると感じております。
- ・いろいろな職種から情報が得られる。
- ・リアルタイムでの状況がみれ、災害時どのような連携を図っていくのか想像できた。
- ・とくに訪問看護ステーション同士の連携がスピーディーで心強かった。
- ・他職種がチャット画面を介してではありますが、連携できた事
- ・各担当での動きがわかりやすかった
- ・色々なケースがそれぞれに発展していて、災害時に起こりうる事柄の可能性を多角的に考える事ができた。
- ・一つのチャットで多くの医療、福祉機関が繋がってコミュニケーションがとれると、各専門職の知識が合わさり、とても心強いと感じました。
- ・リアルタイムで困り事が多職種で共有できる点は良いと思います。

7. 今後の訓練への改善点や課題、ご意見をご記入ください。(原文ママ)

- ・各職種の動き方(BCP)の構築と共有
- ・行政(天白区)や学校、民生委員と各職種が役割や動き方について話し合う必要がある
- ・はち丸 YOU チャットに行政や学校、民生委員など地域の方々にも入ってもらう方がいい
- ・やはり、課題となっていたケースごとのチャットルームが欲しい。携帯で対応することが多くなると思われ、今の状態だと分かりにくいかと。
- ・本当の災害時はそれぞれの利用者を振り分けて情報交換ができると良いと思います。
- ・やはり全体チャットのみでの把握は難しいと思います。災害時、これ以上の事案が出てくるため、共有しても埋もれてしまう可能性が高いです。
また、訪看としての動きはブロックで動いていますが、他の医療機関がどのような動きをするのか、まず全体で同じ動きをした方が縦のつながりができてわかりやすいのではないかと考えています。看護側の意見になりますが、看護として動くとき、どこから指示を受けるとスムーズなのか、このブロックにはこのクリニックがあるためこの先生にお願いしたい。など明確になってくるかと思っています。天白区として動くにあたり、医師看護師介護士、そして多くの医療機関や施設、それぞれが同じ動きでできたらまとまりが出てよいのではと思っています。
- ・ケースの数を減らし、もう少し細かい設定で訓練をすると、より課題が具体化するかもしれないと思いました。
- ・緊急時、医療関係者の方々の情報共有が優先とは思いますが、ケアマネジャーとして何ができるかを考えさせられました。
- ・ケアマネとして在宅で人工呼吸器の方を担当しているため備えておくべきことを考える機会となりました、ありがとうございました。
- ・ケース想定にお住まいの地域情報が欲しかったです。
- ・時間の枠が長く、返信を見れない事があったので、時間を絞るとよいのではと思います。
- ・トークルームをそれぞれに立ち上げる機能がある方が情報は追いつきやすいとは思いましたが、初回としてはかなり良かったのではと感じています。お疲れ様でした。
- ・事前に被災時にできることを考えた上で参加していきたいと思いました。
- ・薬剤、歯科、外科などとはじめに入れると発信すると見逃しづらいかもかもしれないと感じた。
- ・つなぎ役やファシリテーターがおり、マッチングできるとよいと思った。
(判断などが難しく、混乱を招く可能性が高いが、同じ方向に行くならここもよれるかもといったケースがあったため)
- ・数字の半角や大文字、囲い○がある等の違いにより、キーワードが検索できない(色が変わらない)ため、数字やカタカナは半角や大文字といったルールを確定しておく。
- ・訓練時間がもう少し時間が短い時間でもよいかと思いました。
- ・新しいシステムをまた試しては良くする
- ・チャットの機能は期待します。人数が増えると情報が錯綜するが、逆に近くにいる方が対応できるというメリットもあるため、参加人数が増えると良いと感じた。
- ・実際の現場にはいったら、書き込みだらけになると思うので検索などをうまく使わないと難しくなると感じた。
- ・ある程度の地区を書き込んでもらうとわかりやすいと感じる内容もあった。
- ・チャットの操作性に関して、リプライ(返信)機能やスレッド形式があると、各ケースややり取りが整理され、情報の把握がしやすくなると感じました。また、ケースごとの進行状況が一目でわかるような仕組み(例:ステータス表示、案件別タブなど)があると、より円滑に連携できるのではと思います。

7 つづき

- ・医療機関の参加が少ない
- ・天白区の連携の強さを実感しました。今後ともよろしくお願いします。
- ・ケース毎に情報がまとめて見れる様になると、見逃す事なく対応が出来るのではないかと思います。
- ・やはり現実出来る事を考えると区をブロック分けし、各ブロック内の避難先、中核医療機関、対応可能薬局、看護ステーション、ヘルパー事務所などを明確にするために、それら施設のはち丸への登録推進し、今回の様な訓練にも積極参加を要請していく必要性を感じました。
- ・医療関係職員に固まらない情報がほしい。セキュリティは必要ですが、ログイン等参加するのが大変な仕業。これが全区となると、ますます読み取れなくなってしまう。
- ・訓練のためケースの数が決まっていたが、実際の利用者さんの数を考えたとき、状況の把握がどれくらいできるのか不安になりました。利用者ごとのタグがあれば見やすかったように感じました。
お疲れさまでした。
- ・チャットの操作性に関して、リプライ(返信)機能やスレッド形式があると、各ケースややり取りが整理され、情報の把握がしやすくなると感じました。また、ケースごとの進行状況が一目でわかるような仕組み(例:ステータス表示、案件別タブなど)があると、より円滑に連携できるのではと思います。
⇒ 対策 : リプライ(返信)ボタンを追加し、コメントが誰宛かわかる仕様に各発言に「返信」ボタンを付け、スレッド形式で表示。これにより、誰の発言への返答かが明確になり、やり取りの流れが把握しやすくなる。
- ・発災時、介護側から医療側へのアクセスがしやすくなると期待しています。
まずは介護同士の連携についても課題と感じているため、研修などから BCP のイメージをより具体化していきたいと思います。
- ・事前の話にもありましたが、関連がわかりやすくなると良いかと思います。
- ・実際に災害が起きた時にチャット以外の対応の共有を今後さらにできればと思います。
- ・今回、当ステーションも会話に加わる事ができず様子を伺ってしまった。どこから指示がきてどのように動く部隊があるという指示系統がはっきりするとスムーズなのではないかと感じた。
- ・被災時は多くのチャットが投稿されるため、読むだけでもかなり時間をとられると感じました。
簡潔、明瞭に投稿する工夫が必要なのと、急ぎ案件は「いつまでに」など時間をわかりやすく伝える必要があると思いました。

以上。